



第2740地区 創立／1990年9月29日 認証／1990年10月22日

佐世保中央ロータリークラブ週報

会長：岩政 孝 / 副会長：岡田 文俊 / 幹事：川島 千鶴

■2017～2018 年度クラブテーマ■

「温故知新」佐世保中央ロータリークラブです！

週報編集 / 公共イメージ・会報委員会：本田 実、大久保 厚司、宮崎 祐輔、有吉 中、片桐 康利、馬渡 圭一

本日の出席率 76.74%：会員数 48名・出席 29名・欠席 10名・出席規定免除会員(9) 4名・ビジター 0名
 前々回の修正出席率 93.02%：出席 30名・メークアップ 4名・出席規定免除会員出席 5名



会長挨拶 / 岩政 孝君



今月は青少年奉仕月間です。本日は溝上青少年奉仕委員長の企画で、佐世保特別支援学校の先生に卓話をお願いしております。我々も5年前から支援学校の生徒さんとはダンス部演舞会を企画して参加してもらっていますのでご存知かと思っておりますので、あの子供たちを思い出しながらお話をお聞きたいと思っております。

さて、5月の連休はどのようにお過ごしでしたでしょうか。佐世保島原ウォークラリーにはスタッフとしてボランティア活動をされた方や、競技者として参加された方もいらっしゃると思いました。ウォークラリーに携われた皆さんお疲れさまでした。

連休明けて平常の仕事に戻ったわけですが、佐世保の基幹産業が苦戦しているなどの報道が聞かれます。仕事もロータリー活動も笑顔でポジティブに突き進んで行く事を心掛けたいものです。

3. 依頼・伝達

- ・本日は青少年奉仕委員会の担当で、長崎県立佐世保特別支援学校高等部主事 福田賢吾様です。学校の取組と私たちが出来る奉仕についてお考え頂ければと思います。
- ・今週12日土曜日IM参加者は、国際大学で13時30分受付開始ですので、お食事を済ませてお時間に御集合をお願い致します。
- ・まだ朝晩は肌寒いですが、クールビズに入りました。ノーネクタイで出席可能です。



ニコニコボックス

岩政 孝会長・岡田 文俊副会長・川島 千鶴幹事

本日 青少年奉仕委員担当で、県立佐世保特別支援学校高等部主事福田賢吾先生にお越し頂いております。学校の取り組みや私たちが出来る奉仕についてお考え頂ければと思います。

溝上 純一郎君

本日は青少年委員会の担当です。長崎県立佐世保特別支援学校高等部主事 福田賢吾先生の卓話です。よろしくお願いします。

岡田 文俊君

この度、島瀬町の自治会長を拝命しました、指山上京町会長の指導の下、頑張ります。色々、教えてください。

崎山 信幸君

結婚記念日のお花ありがとうございました。妻も大変喜んでおりました。

香月 章彦君

5月3～4日にかけて、「第7回佐世保島原ウルトラウォークラリー」に夫婦で参加しました。睡魔と両足にできたマメとの戦いの末、時間をかけてしまいましたがなんとか5回目の完歩、嫁は3回目の完歩を達成できました。吉野君、井手君、岡君、馬渡君（その他にいたらごめんなさい）スタッフのお仕事お疲れ様でした。ありがとうございました。

Report

幹事報告 / 川島 千鶴君

1. 例会変更・休会

※佐世保西ロータリークラブ

日時 5月22日（火）18：30～

場所 ステーキNOBE ※夜例会のため

2. 来 信

■国際ロータリー日本事務局

- ・5月のロータリーレートのお知らせ 1ドル=108円

■ガバナー事務所

- ・青少年奉仕月間リソースのご案内、出版物一覧
- ・2740地区ホームページ更新のお知らせ
 - ①2017-2018 年度 ガバナー月信 Vol.11
 - ②2017-2018 年度 バギオだより 2018 年 5 月号

■ガバナーエレクト事務所

- ・クラブ米山記念奨学委員長セミナー開催のご案内
 - 日時 5月27日（日）13：00～受付
 - 場所 東彼杵町総合会館

嫁は3回目の完歩を達成できました。吉野君、井手君、岡君、馬渡君（その他にいたらごめんなさい）スタッフのお仕事お疲れ様でした。ありがとうございました。

途中、リアル又はWebで応援下さった皆様、ありがとうございました。勢いで「行橋別府100キロウォーク」にエントリーしようと思いましたが、日程が北高周年行事と重なってましたので、エントリーを諦めます。来年の「第8回」へのエントリーを「どうしようかなあ」と思いながら、ニコニコします。あっ、芥川君V2&記録更新おめでとうございます。

岡 光正君

皆様、今晩は！5月3・4日に開催しました、「第7回佐世保島原ウルトラウォークラリー」に参加されました、香月ご夫婦並びに芥川君完歩おめでとうございます！また、昨日 映画「坂道のアポロン」の「黒島」での上映会の告知にNBCの「あつぷる」に90秒生出演させて頂きました。その影響かはわかりませんが、遠くは「東京」から申し込みがありました。皆様方のご協力に感謝すると共に、悪天候の中、上映会の現地調査に行って頂きました、野村会員にも深く感謝しう。前夜祭の布団が後1枚残っていますので、私、岡までご連絡ください。

芥川 圭一郎君

無事に、島原まで完歩することが出来ました。実行委員会の皆様、ご支援ありがとうございました。

馬渡 圭一君

香月さん、芥川さん、ウルトラウォークラリー完歩本当におめでとうございます。岡さん、井手さん、吉野さん、裏方の仕事大変お疲れ様でした。来年は、皆さんの足を引っ張らないようにがんばります。

本日の合計	12,000 円
本年度の累計	1,008,018 円



本日の卓話

佐世保特別支援学校
知的障害教育部門
高等部主事 福田賢吾 様



佐世保特別支援学校の紹介 ～知的障害教育部門高等部の 教育活動と進路指導を中心に～

<佐世保特別支援学校の紹介>

本校は、昭和53年4月に佐世保養護学校（知的障害教育校）として佐世保市竹辺町に開校しました。平成19年に野崎養護

学校が廃校になり、その年の4月から、知的障害と肢体不自由の併置校として、総合化されました。今年は、開校から41年目になります。その間、平成22年4月に、県立北松農業高校内に高等部北松分教室が、平成25年4月に、県立上五島高校内に高等部上五島分教室がそれぞれ開設されました。

現在、本校と分教室の児童生徒数は合わせて262名、職員数は161名です。

<高等部の教育活動>

高等部の教育目標は、「一人一人の個性や能力を最大限に生かし、心身の発達の調和を図るとともに、より豊かな社会生活を営む上で、必要な知識・技能・態度を身に付け、自ら考え主体的に活動する生徒を育てる。」です。

高等部では、家庭生活、職業生活、社会生活に必要な知識、技能、態度などの指導を中心とし、農業、ライフデザイン、洗車・清掃、手工芸、作業基礎の作業学習を実施し、特に職業教育の充実を図っています。

平成29年度の本校知的障害教育部門高等部の企業就労は、卒業生55名中22名（40%）でした。

授業は、毎日1校時に体力づくりを行っています。これは、仕事をする上で、健康・体力が必要と考え時間割に位置づけています。また、「職業」という教科では、「仕事のルールやマナー」「あいさつや身だしなみ」「困ったときの対応」「給料と生活費」など多岐に渡って学習します。作業学習は、火曜日の午前と金曜日の午前と午後に行っています。作業活動を計画的に継続して行うことを通して、充実感、達成感、自己肯定感などを育み、卒業後の福祉的就労や一般就労など多様な社会参加の場で、生徒一人一人が生き生きと生活するために、必要な意欲や態度を培い、人間関係の形成を図り、安全への配慮や基本的な道具の扱いなどを知り、日常生活でも活用できる力を身に付けることなどをねらっています。

作業学習の目標は①働くことの喜びを知り、進んで仕事に参加する。（体力・素直さ）②自分の分担に責任をもち、他の者と協力して最後までやり遂げる。（丁寧さ、スピード、持続力、集中力、判断力、協調性）③指示を素直に聞き入れ、行動に移すことができる。（指示理解、素直さ、判断力）④時と場に応じた挨拶・返事・報告をする力を身に付ける。（判断力、挨拶・返事・報告）⑤作業に使う道具、機械などの名称、操作の仕方を知り安全に正しく扱う。（安全）の5つを目標に上げて取り組んでいます。

高等部の行事の一つに現場実習があります。現場実習の目的は、「実習をとおして、就労するために必要な知識・技能・態度など、『働く力』をつけること」です。ホンモノの現場でホンモノの仕事を経験することが必要と考えます。学校で学習したこと、数学や国語、体育、日常生活の指導、作業学習、生活単元学習などの全ての教育活動の集大成と考えています。現場実習に行くと必ず課題が出てきます。全てがうまくいくということはありません。その課題は、学校の学習で焦点化して勉強をしていき克服していこうと考えています。そして、この現場実習を通して雇用が決まっていきます。1年生は『知る』というテーマで6月に校内実習2週間、11月に現場実習（一つの企業に5、6人のグループで実習）を2週間実施します。2年生は、『広げる』というテーマで、6月に2週間、11月に2週間、一人一つの企業・福祉事業所で実習をします。3年生は『決める』というテーマで、

6月に3週間、11月に3週間実習を行います。現場実習が終わりましたら、しっかり振り返りをします。実習中、本校職員が実習の様子を写真や動画で記録し、自分が良かったところや課題になったところをしっかりと見つめます。課題になったところは、今後の学校生活の課題としていつも目に付くところに掲示し意識することで改善するように努めます。事後学習で実習の振り返りをして、その成果を「現場実習報告会」で披露します。高等部生徒、保護者、教師全員の前で、実習先、仕事内容、良かったところ、課題になったところ、これから頑張ること、将来の希望などを発表します。生徒は、発表する内容を暗記して緊張しながらも発表します。後輩からは、疑問に思ったことなどを質問することで活発に報告会が行われます。この報告会を実施することで、次の現場実習先の希望選択の参考にもつながっています。

〈これからの高等部〉

平成31年度から2年、3年にコース制を導入します。「職業コース」「総合コース」「生活コース」の3つのコースを開設します。県北の子供たちの「働ける人になりたい」という希望に応えられる教育活動の実現と、より一層、個に応じた将来の自立と社会参加と自分らしい豊かな人生づくりにつながる教育を充実していきます。

最後に、子供たちの夢をかなえてくださる協力企業を募集しています。詳しくは、配付したリーフレットをご覧ください。

今後も地域とつながる学校づくりを目指していきます。本日は、このような機会を設けてくださりありがとうございました。



S A A : 田 雑 豪 裕 君

次回例会／5月24日12:30～

memo
